

【産直用】にら防除記録日誌

令和8年度(2026年)

2026.1.14登録反映分にて作成

JA庄内たがわ

支所名			生産者氏名			作物名	にら		品種名			確認		
播種日	月	日	播種日	月	日	収穫始め	月	日	収穫終わり	月	日			

適用害虫名							薬 剤 名	希釈倍率 または 処理量	収穫前使用日数 (使用時期)	使用回数	RAC コード	使用した薬剤名の欄の口に✓チェックを入れ使用月日を記入して下さい								
類ネ ダニ	ムネ シキ 類リ	ウアザ 類ミ	ムアシブ 類ラ	ガネ ギコ	類リハ バモ エグ	ムヨ シト 類ウ						□ /								
○							トクチオン細粒剤F	6～9kg/10a	定植時	1回	I:1B	□ /								
○							アブロードフロアブル	500～1000倍	収穫14日前まで	1回	I:16	□ /								
		○ネギアザ ミウマ					ハチハチ乳剤(劇)	1000倍	収穫14日前まで	1回	I:21A F:39	□ /								
		○ネギアザ ミウマ					リーフガード顆粒水和剤(劇)	1500倍	収穫7日前まで	2回以内	I:14	□ /	□ /							
		○ネギアザ ミウマ		○	○	○	アグロスリン乳剤(劇)	2000倍	収穫7日前まで	3回以内	I:3A	□ /	□ /						□ /	
	○						ガードベイトA	3kg/10a	収穫3日前まで	3回以内	I:3A	□ /	□ /	□ /						
		○		○			ディアナSC	2500～5000倍	収穫前日まで	2回以内	I:5	□ /	□ /							
		○	○				モスピラン顆粒水溶剤(劇)	4000倍	収穫前日まで	3回以内	I:4A	□ /	□ /	□ /						
												□ /	□ /	□ /	□ /	□ /	□ /	□ /		

適用病害名							薬 剤 名	希釈倍率 または 処理量	収穫前使用日数 (使用時期)	使用回数	RAC コード	使用した薬剤名の欄の口に✓チェックを入れ使用月日を記入して下さい						
葉 腐 病	さ び 病	菌 株 腐 病	枯 白 病 斑 葉	乾 腐 病	白 絹 病	軟 腐 病												
○					○		バリダシン液剤5	800倍	刈揃え前まで	3回以内	F:U18	□ /	□ /	□ /				
	○						トリフミン水和剤	2000倍	収穫14日前まで	3回以内	F:3	□ /	□ /	□ /				
			○				セイビアーフロアブル20	2000倍	収穫7日前まで	1回	F:12	□ /						
	○		○				ストロビーフロアブル	3000倍	収穫前日まで	3回以内	F:11	□ /				□ /	□ /	
	○		○		○		アフエットフロアブル	2000倍	収穫前日まで	2回以内	F:7	□ /	□ /					
		○	○				Zボルドー	500倍	—	—	F:M01	□ /	□ /					□ /
						○	コサイド3000	2000倍	—	—	F:M01	□ /	□ /	□ /	□ /	□ /	□ /	
					○		フロンサイド粉剤	20kg／10a	収穫30日前まで	1回	F:29	□ /						
			○	○			トップジンM水和剤	1000倍(土壌灌注3ℓ/㎡)	収穫21日前まで	1回	F:1	□ /						
												□ /	□ /	□ /	□ /	□ /	□ /	

適用雑草名	薬剤名	使用量/散布液量(10aあたり)	収穫前使用日数(使用時期)	使用回数	RAC コード	使用した薬剤名の欄の口に✓チェックを入れ使用月日を記入 して下さい
一年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	ナブ乳剤	150～200ml/100～150ℓ	雑草生育期イネ科雑草3～5葉期、収穫 前日まで	1回	H:1	□ /
一年生雑草	ロロックス	100～150g/70～150ℓ	収穫30日前まで(雑草発生前)	1回	H:5	□ /
	クレマートU粒剤	4～6kg	定植後(雑草発生前)、定植10日後まで	1回	H:3	□ /
	ゴーゴーサン乳剤	200～300mL/100ℓ	定植後(雑草発生前)但し定植10日後まで 収穫30日前まで(雑草発生前)	1回	H:3	□ /
	バスタ液剤	300～500ml/100～150ℓ	収穫前日まで(雑草生育期 耕起前・は 種前・定植前又は畦間処理)	3回以内	H:10	□ / □ /

※収穫前使用日数(使用時期)に注意すること！ 日数を超えていたら出荷はできません。

適正管理について！

1. 病害虫の発生状況・予察に留意しながら予防・発生初期防除を心がける。
2. 圃地の適正な排水管理を行う。
3. ドリフト軽減ノズルや防薬ネット等を出来る限り使用する。
4. みつばちへの配慮を行う。

防除器具の農薬残留に留意！！

- ・防除器具は、前回散布後に充分洗浄したか確認し、散布当日も薬剤調整後にもう一度通水し洗浄しましょう。
- ・防除器具は使用后、通水で3回以上洗浄しましょう。
- ・洗浄水は川や下水等に流さないようにしましょう。

RACコードとは

- ・農薬ごとの作用性を分類したものを「RACコード」と言い、製品ラベルなどに表示されている。農薬による耐性・抵抗性は、同一農薬、同一系統の薬剤の連用がその発生要因であると考えられている。

RACコードが同一の薬剤の連用は避けること。